

令和元年9月24日

原子力施設立地・隣接道府県
原子力災害医療（被ばく医療）機関の長 殿

広島大学緊急被ばく医療推進センター長
神谷 研二
(公印省略)

令和元年度第五回「原子力災害医療中核人材研修（広島大学）」について

日頃より高度被ばく医療支援センター業務にご協力いただきありがとうございます。
原子力規制委員会から高度被ばく医療支援センターの指定を受けている弘前大学、福島県立医科大学、量子科学技術研究開発機構、広島大学、長崎大学の5機関は、一昨年度から分担して「原子力災害医療中核人材研修」を開催しております。

本研修は、原子力災害拠点病院の指定要件の一つとして求められる「原子力災害に対する中核人材」の育成を目的とし、原子力災害拠点病院の施設要件として受講が要求される研修の一つとして位置付けられております。今年度は別紙のスケジュールのとおり5回実施する予定となっております。

受講対象は医師・看護師・診療放射線技師等であり、原発立地・隣接24道府県の原子力災害拠点（候補）病院を中心に受講生の募集を行っております。今回は、広島大学が担当する第五回（12月9日（月）～11日（水））のご案内となります。貴機関より、本研修受講対象者をご推薦くださるようお願いいたします。

広島大学 緊急被ばく医療推進センター 事務局
TEL : 082-257-5398 FAX : 082-257-5403
e-mail : iryu-hibaku-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp
iryu-hibaku@office.hiroshima-u.ac.jp

(別紙)

令和元年度「原子力災害医療中核人材研修」開催スケジュール

	実施日	主催/お問合せ先	定員
第一回	7月3日(水)～5日(金)	量子科学技術研究開発機構 基幹高度被ばく医療支援センター事務局 〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1 TEL:043(206)4607 (開催場所:千葉市)	20名
第二回	7月31日(水)～8月2日(金)	福島県立医科大学 高度被ばく医療支援センター(災害医療部内) 〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 TEL:024(547)1541 (開催場所:福島市)	20名
第三回	10月28日(月)～30日(水)	長崎大学 高度被ばく医療支援センター事務局 (原子力災害対策戦略本部内) 〒852-8501 長崎県長崎市坂本1-7-1 TEL:095-819-8536 (開催場所:長崎市)	20名
第四回	11月20日(水)～22日(金)	弘前大学 高度被ばく医療支援センター 〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 TEL:0172(39)5474 (開催場所:弘前市)	20名
第五回	12月9日(月)～11日(水)	広島大学 緊急被ばく医療推進センター (高度被ばく医療支援センター) 〒734-8553 広島県広島市南区霞1-2-3 TEL:082(257)5398 (開催場所:広島市)	20名

国立大学法人広島大学
令和元年度 原子力施設等防災対策等委託費事業
令和元年度 第五回「原子力災害医療中核人材研修」募集要項

本研修は、原子力規制委員会から基幹高度被ばく医療支援センターの指定を受けている量子科学技術研究開発機構、高度被ばく医療支援センターの指定を受けている福島県立医科大学、広島大学、長崎大学、弘前大学の5機関が、原子力規制庁の令和元年度原子力施設等防災対策等委託費事業として実施するもので、年間5回開催される予定です。

本募集要項は、**広島大学が主催する第五回**についてのご案内となります。

1 目的

「原子力災害拠点病院」は、災害拠点病院であることを要件として指定されることになっており、24時間緊急対応し、災害発生時に被災地内の傷病者等の受入れ及び搬出を行うことが可能な体制が求められています。本研修は原子炉施設等が立地する道府県等において、原子力災害が起きた際にも、医療拠点となる病院として機能できる様に、放射線による被ばくや放射性物質による汚染を含む被災者の受入れ対応などについて高度・専門的な知識と技能を習得し、中心的役割を担える中核人材等の養成を目的とする専門的な教育研修です。

※「原子力災害拠点病院」の施設要件については、「原子力災害拠点病院等の施設要件」（平成30年7月 原子力規制庁）を参照してください。

2 対象者

原子力災害拠点病院もしくはその候補となる病院の医師、看護師、診療放射線技師等

3 募集人員及び研修期間

募集人員 20名

研修期間 第五回：令和元年12月9日（月）～令和元年12月11日（水）

（3日間の日程）

4 実施場所

〒734-8553 広島県広島市南区霞1-2-3

広島大学病院大会議室ほか

交通：JR広島駅より広島電鉄バス5号線

「大学病院」行き → 「大学病院（終点）」下車

所用時間：約15分 ※所要時間は時間帯・道路状況により異なります。

5 研修科目

別記 時間表（案）のとおり

到達目標

- 現場での除染処置がなく、汚染の程度が不明な患者でも受入れることができる
- 原子力災害拠点病院における医療チームの中心的メンバーとなることができる
- 被ばくした患者に関し、自身の病院で何が対応可能か、何を院外に依頼するかを判断できる

カリキュラムの特徴

- 複合災害、大規模災害等による原子力発電所の事故も含め、原子力災害に伴う放射線事故を想定
- 想定問題を医療及び線量評価の面からグループ討議する机上演習
- 患者受入れ・除染処置等を含めた実習

6 受講料

無料

※本研修は原子力災害時の医療体制整備に資するため、原子力規制庁からの委託事業の一環として実施され、原子力災害時の医療拠点となる病院の中核人材等養成のための教育研修と位置づけられています。

7 交通費・宿泊費について

本学の旅費規定に従い、交通費及び宿泊費を支給致します。支給詳細については決定後お知らせ致します。

8 申込受付期間

第五回：令和元年 10月1日（火）～令和元年 10月31日（木）

9 申込要領

(1) 同封の申込書にて、郵送またはメール（申込書添付）でお申し込み下さい。

【郵送】

送付封筒の表には「第五回 中核人材研修申込書」と朱書きして下さい。

申込締切日 第五回：令和元年 10月31日（木）当日消印有効

【電子メール】

件名に「第五回 中核人材研修申込書」と入れて下さい。

電子メール送信後、3営業日以内に返信がない場合はご連絡ください。

メール宛先：iryu-hibaku-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp

申込締切日 第五回：令和元年 10月31日（木）

※申込書の電子媒体（Excel）が必要な方は、件名に「中核人材研修申込書」と入れ、上記メール宛先までご連絡ください。

- (2) 本研修の受講には所属長の承認が必要です。申込書の所定の欄にご記入下さい。
- (3) 同一組織から複数名応募の場合は申込書をコピーしてお使い下さい。推薦順位がある場合は、受講理由欄へ「推薦順位〇位」を記入して下さい。
※まとめて応募する場合でも1人1枚の申込み用紙が必要となります。

10 受講決定通知

- (1) 研修開始日の1か月前までに所属長及び本人宛に結果を文書で通知します。応募者多数の場合には受講人数を調整させていただくことがあります(受講決定は、先着順ではありません)。なお、研修開始日の前を経過後も通知文が届かない場合は問い合わせ先までご連絡下さい。
- (2) 受講決定者には経費支払いに関する情報及び書類、研修日程等受講に必要な諸事項を同封します。
- (3) 受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は受講決定を取り消す場合があります。
- (4) 受講決定後の参加申込みの取り消しは、原則として認めませんが、やむを得ない事情による場合には「辞退届」の提出が必須となります。

11 問い合わせ先及び申込書送付先

〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3
広島大学 緊急被ばく医療推進センター
Tel : 082 (257) 5398 (ダイヤルイン)
Fax : 082 (257) 5403
E-mail : iryo-hibaku-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp

お申込における個人情報の取り扱いについて

お申込に際してご記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、本学の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県からの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

令和元年度 第五回「原子力災害医療中核人材研修」 時間表(案)

期間: 令和元年12月9日(月)～12月11日(水)

実施: 広島大学緊急被ばく医療推進センター

講義場所: 広島大学病院大会議室ほか

時間	教室	講義タイトル
1日目 12月9日(月)		
9:00 - 9:10	大会議室	開講式
9:10 - 9:20	大会議室	ガイダンス/プレテスト(アンケート)
9:20 - 9:40	大会議室	日本の原子力災害医療制度
9:40 - 10:00	大会議室	福島県における県民健康調査等について
10:00 - 10:30	大会議室	原子力災害医療とは?
10:30 - 10:40		休憩
10:40 - 11:30	大会議室	被ばく医療に必要な放射線の基礎I(単位, 物理学的性質)
11:30 - 12:20	大会議室	被ばく医療に必要な放射線の基礎II(生物影響)
12:20 - 13:20		昼食
13:20 - 14:20	大会議室	外部被ばくと内部被ばくの線量評価
14:20 - 15:10	大会議室	住民に対する病院外での医療対応 救護所, 避難所など (福島事故における問題とその対応)
15:10 - 15:20		休憩
15:20 - 17:00	3F1, 2	被ばく患者診療に必要な体表面汚染の計測・除染実習
2日目 12月10日(火)		
9:00 - 9:50	大会議室	放射線事故時のリスクコミュニケーション
9:50 - 10:40	大会議室	放射線事故時のメンタルヘルス(福島県被災者の現状と課題)
10:40 - 10:50		休憩
10:50 - 11:40	大会議室	放射線事故例
11:40 - 12:40		昼食
12:40 - 13:30	3F1, 2	病院における初期対応
13:30 - 17:00	3F1, 2	実習: 汚染への対応
3日目 12月11日(水)		
9:00 - 12:00	3F1, 2	机上演習
12:00 - 13:00		休憩
13:00 - 13:20	大会議室	ポストテスト
13:20 - 13:40	大会議室	総合討論
13:40 - 13:50	大会議室	修了式
13:50 - 14:20	3F4	補講
14:30 - 17:00	※	見学 <バス移動> 広島平和記念資料館(原爆資料館), 広島平和記念公園

(注) 時間表は随時見直されていますので, 若干の変更があることをお含みおき下さい。

講義及び実習は, 予定より延びることがありますので, ご承知おき下さい。

広島平和記念資料館(原爆資料館)等の見学は希望者のみ実施となります。受講決定後に希望の有無をお尋ねいたします。

